

導入事例1

導入企業：日本工装株式会社様

導入目的：国際間のデータ送受信の高速化

課題

- 海外拠点とのコミュニケーションや業務の伝達を密に行う為、ネットワークインフラは重要な部分であるが、日本に比べ**海外拠点の通信回線の帯域不足や頻発する障害**が大きな問題であった。

対策

- 光ファイバの導入は難しい為、**ADSL回線を複数使用し高速化**を図りたい。
- 1回線に障害が起こっても、バックアップ回線を使用し**停止することなくデータの送受信**を行う仕組みを構築したい。

採用ポイント

- ADSL回線であっても、WANを複数回線束ねることで高速化を実現できる。
- 全ての回線を常時使用することが可能なので、回線の無駄が発生しない。
- 障害回線を気にすることなくアクティブな回線のみ使用出来るので、業務が停止しない。

導入後の効果

- 拠点間通信のストレスが無くなった。
- ADSL回線であっても、束ねることで高速化を実現した。
- 通信回線トラブル時の対応が軽減された。

